

令和2年度 第2回二宮町図書館協議会 会議録

開催日時	令和2年10月15日 木曜日 13時30分から14時45分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	森英夫教育長、石井敬士会長、桐岡眞澄副会長、相澤るつ子委員、内山留美委員、中島良光委員、三宅栄子委員、和田智司委員
事務局	黒石教育部長、小笠原生涯学習課長兼図書館長、竹本図書館班長、込山図書館班主査
その他	傍聴者なし

※ 会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

(司会・小笠原生涯学習課長兼図書館長)

1. 開会

2. 挨拶

森教育長、石井図書館協議会長より挨拶

3. 議題

(1) 図書館利用状況等について

事務局より、図書館利用状況等について、資料に基づいて報告。

(会長)

予約についてですが、臨時休館中から在庫資料の予約を始めましたね。開館後、予約とリクエストの状況はどうでしょうか。

(事務局)

予約は二宮町図書館が所蔵している資料、リクエストは二宮町図書館では所蔵していない資料への要望です。予約はホームページからも受付しますが、リクエストは来館してカウンターでの受付となります。6月16日から開館しまして、直後は多くの予約・リクエストがありました。

リクエスト資料は、購入するか他の図書館から借用してご用意しています。7月以降、県内の他市町村の図書館も徐々にサービスを再開しており、相互貸借によるリクエスト資料の提供も順調に行われています。

(2) 「令和2年度二宮町図書館サービス充実のための重点目標」の取組状況について事務局より、「令和2年度二宮町図書館サービス充実のための重点目標」の取組状況について、資料に基づいて説明。

(委員)

図書館の Twitter はどのようにされているのでしょうか。一人の職員が担当しているのでしょうか。

(事務局)

複数の職員で相談しながら進めています。先ほど連続したツイートの例をご紹介しましたが Twitter は予約投稿ができますので、まとめて投稿準備をしています。

(会長)

システムについてです。レファレンスの事例を記録しておくようなことはできるのでしょうか。

(事務局)

問い合わせの多いものについては、例えば先ほどご紹介した「町の木や花」についてのお問合せ等のようなものは、折に触れてご紹介できればと考えています。お問合せをどのように解決したかは、図書館職員の研鑽につながりますので、蓄積をしています。

(会長)

レファレンス事例をまとめて掲載して、利用者が閲覧できると、学校の課題にも役立つと思います。二宮町に関する事例だけでなく、二宮町図書館で受けたレファレンス事例を紹介できると良いですね。

(委員)

「新しい生活様式」に対応した図書館運営について、よく考えられていると思います。以前から図書館で本や DVD を借りる際に、貸出期間が違うので、少し不便に思うところもありました。今回、視聴覚資料の貸出期間が1週間から2週間になって、図書と一緒に変わったのは良かったと思います。

(委員)

最近の情報発信は、ホームページをわざわざ見に行くというより、SNS で流れてくるものという要素が多いように思います。Twitter などを活用して情報発信するのは良いことだと思います。

新システムについてです。今まで「正確に入れないと出てこない。ひらがなカタカナが違ってヒットしない」ということがありました。新機能の「もしかして検索」はありがたいと思います。

感染症対策もある中で、新しい取り組みもされています。感染症対策の負担感について伺いたと思います。いかがでしょうか。

(事務局)

感染症対策については国等の動きも踏まえて、図書館でも対策をしています。例えば、図書館入り口には消毒液を置いており、スーパー等の入店時と同じように、手指の消毒をしていただいておりますが、利用者の皆さんにもご理解いただいております、受け入れていただいていると感じています。

状況が落ち着いてきた中で、8月から金曜日、10月から水曜日の延長開館を再開し、開館時間については、臨時休館前の開館時間に戻しました。

(委員)

前回会議で、返却資料を72時間置いておくということでしたが、それは継続されていますか。

(事務局)

継続しています。プラスチックのようなつるつるしたものの上でもウイルスが72時間程度は生存しているという国立感染症研究所からのレポートが出されていますので、返却された資料はすぐ書架へ戻さず、別室で3日間保管してから書架に戻しています。利用が徐々に回復していますので、返却資料の量が増えています。そこは職員の負担が増しているところですが、ただ、この保管は、図書館職員の感染防止という面からも、今後も継続していきます。

(委員)

福袋の企画は初めてだと思いますが、中身はどのような本になるのでしょうか。

(事務局)

スタッフおすすめのもの、様々なジャンルから選ぶ予定です。借りた方には「開けてみてのお楽しみ」ということになります。今まで触れたことのないジャンルに当たり、子どもたちに新しい世界が広がると良いなという企画です。担当スタッフが熱心に準備を進めています。

(会長)

この企画が成功して利用が増えると良いと思います。10代後半から20代は、年齢別の利用を見ると少ない年代です。利用のきっかけになると良いと思います。県内の他の図書館での事例がありますので、参考にされると良いでしょう。

(委員)

臨時休館後、開館してから問題になったこととか、利用者の方からの声では何かありましたか。

(事務局)

図書館が再開したことには、非常にお喜びの声をいただきました。主にいただいたご要望としては、3点ほどあります。一つには子ども向け行事がないのが残念ということで、先ほどご説明した通り10月から徐々に再開していくところです。二つ目には視聴覚資料の視聴ブースが使えないのが残念ということです。ひとりで静かに観たいという方には、ご自宅で観るより図書館の視聴ブースで観たい、という思いがあるようです。ただ、ヘッドフォンを耳にあてるなど、直接触れるような使い方になりますので、再開が難しいところです。三つ目には2階の学習コーナーが使えないのが残念というものがあります。図書館の資料を使ってじっくり勉強をされたい方からは、そろそろ利用できませんかというお声があります。学習コーナーについては、感染症対策を行った上で再開したいと考えています。そのほか、図書・雑誌のリサイクルコーナーは、年内に再開するよう準備を進めています。

(会長)

図書館だけの問題ではありませんが、障がいのある方へのサービスはどうでしょうか。聴覚障がいがある方は、マスクの影響で唇の動きがわからなくなってしまったとか、視覚障がいのある方も、触れることを避けるので、誘導など手を貸してくれる方が減ってしまったということがあるそうです。そうした方への図書館のサービスというものを考える機会ととらえる事もできると思います。二宮町では現状、障がいがある方はそんなに多くなくとも、高齢になると耳や目が不自由になる方が増えてきますので。

それから、利用について注目したいのは、予約リクエストが増えていることです。貸出冊数が減少していても、予約冊数は増えています。これは、滞在型図書館からの転機というような動きですね。ゆっくり図書館に滞在して利用する流れがありましたが、コロナ禍下では長時間の滞在を断らざるを得ません。先行きについてはまだ分からないところがある中で、利用促進を考えていかなければなりませんね。

(3) その他

事務局より、新図書館開館20周年記念事業について、資料に基づいて説明。

(会長)

20周年事業としては、かこさとし絵本画展を中心に実施するということでしょうか。

(事務局)

図書館が主体になって絵本画展を実施します。絵本画展に絡めて、共催予定でした団体さんと連携して何かできれば、ということも検討しています。

(会長)

令和2年度が新図書館20周年の年ですが、講演会は1年先送りということでしょうか。

(事務局)

生涯学習センターラディアンの20周年事業も令和3年度に延期になりました。同様に、図書館の講演会も令和3年度に実施したいと考えています。

(委員)

かこさとし展についてです。かこさんの著作は物語絵本だけでなく子ども向けの科学絵本も多数あります。開催のかたちは変わりましたが、多くの親子に知ってもらい、図書館の利用につながってほしいと願っています。

(会長)

それでは、議事進行を事務局へお返しします。

(生涯学習課長兼図書館長)

ありがとうございました。事務局から何点かご案内をいたします。

(事務局)

二宮町文化祭、ふたみ記念館の「にのみや子ども作品展」について紹介。

(生涯学習課長兼図書館長)

次回第3回の図書館協議会は2月の開催を予定しています。よろしくお願いいたします。

#### 4. 閉会

14時45分閉会。